

研究発表会プログラム（○印は講演者）

【口頭発表】

第1日 [10月8日（水）] 第2会場

特別セッション3「理学と工学の融合における都市開発と応用地質学会のこれから Part3」 13:00-14:30

1. ボーリングデータベースの利活用における理工協働事例
○井上 直人・北田 奈緒子（GRI 財団）
2. 【招待講演】北海道で発生した自然災害における理工協働の実績 ～2016 年北海道豪雨災害と 2018 年北海道胆振東部地震を事例として～
○川村 志麻（室蘭工業大学）
3. 【招待講演】地震時地盤災害評価における理工協働の実績～氷見市を事例として～
○三村 衛（GRI 財団）

特別セッション4「自然災害伝承碑からみる地域災害とアウトリーチ活動」 14:45-16:20

4. 【招待講演】国土地理院による自然災害伝承碑の取組
○田中 信（国土地理院）
5. 北海道の自然災害伝承碑「十勝岳の 1926 年噴火」
○倉橋 稔幸（寒地土木研究所）・北海道自然災害史研究ワーキンググループ（日本応用地質学会北海道支部）
6. 新潟の自然災害と伝承碑
○堀松 崇（興和）・佐藤 壽則（日さく）
7. 九州の自然災害伝承碑
○矢田 純（カミナガ）・九州災害碑 WG
8. 東北の自然災害伝承碑
○橋本 修一（東北開発コンサルタント）
9. 自然災害伝承碑の学会の調査結果の公開と利活用
○千田 敬二（八州）・下村 博之（パスコ）・金山 健太郎（大日本ダイヤコンサルタント）

第1日 [10月8日（水）] 第3会場

特別セッション1「地質関連リスクとダム -調査、評価と緩和対策-」 ※AEG 協働セッション 11:00-16:30

10. 【招待講演】 Variation and design values of mechanical properties of dam rock foundations (Tentative title)
○Yoshikazu Yamaguchi (Japan Dam Engineering Center)
11. Federal Dam Safety Programs in the US: Evolution and Structure of Risk Assessment
○Todd Loar, Cassandra Wagner (USACE)

12. An Introduction to Private Industry Risk Assessments for Dams in the United States
○Hawkins Gagnon (Schnabel Engineering)
13. Geological Factors in Dam Safety Risk Assessment (US Practice)
○Cassandra Wagner, Todd Loar (USACE)
14. Complex Risk Analysis on Rock Wedge Stability at Libby Dam, Montana
Jessica Rudd, Sharon Gelinis, ○Todd Loar (USACE)
15. Lessons Learned: Embankment Protection ("HydroTurf") on a High Hazard Dam in Maryland
○Visty Dalal (Maryland Department of the Environment)
16. Geotechnical risk management for Dam upgrading projects in Japan
○Yoshinori Yajima (Public Works Research Institute)
17. Evaluation of Geo-related Risks: A Perspective on Engineering Education
○Takashi Isomura (Yachiyo Engineering Co.,Ltd.), Tatsujin Group (Planning Committee for Master of the Fields)
18. Assessment of Sheeting Joint Development in the Foundation Rock of the Asuwagawa Dam and Engineering Countermeasures During Construction
○Kyohei Kamada, Tomoyuki Hitotsuyanagi (NEWJEC Inc.)
19. Stability study of a long slope affected by hydrothermal alteration Andesite
○Kazuhisa Ashida (NIPPON KOEI CO., Ltd.)
20. A case study of Geo-related risks identified in dam construction projects in soft rock distribution areas and countermeasures
○Ryoichi Yamaura, Hiroyuki Watatani (CTI Engineering Co.,Ltd.), Mitsuhiro Maruta, Tadayoshi Sakamoto (Kagoshima Pref. Civil Engineering Dept.,)

第2日 [10月9日（木）] 第1会場

特別セッション2「ボーリングコアの画像診断と DX 化」 9:45-11:55

21. ボーリングコアの画像診断と DX 化の必要性
○原口 強（東北大学・STORY）
22. XR 技術を利用した 3D デジタルボーリングコアの紹介と DX 時代の新たな維持管理方法について
○尾高 潤一郎・宮城 康夫・張 慧中・祐徳 信武・奈良 啓示・寺脇 直志（基礎地盤コンサルタンツ）
23. ボーリングコア観察の DX 化事例
○出口 裕二（東邦地水）

24. 四国中央部・三波川変成岩分布域の地すべりにおけるボーリングコアの詳細解析
○西山 賢一 (徳島大学)・山崎 新太郎 (京都大学)・原口 強・鈴木 雄介 (STORY)
25. 火山麓扇状地の水文地質構造解明にむけたコア X 線画像適用事例
○長谷川 怜思・杉江 美織・大山 琢・大石 朗・鈴木 弘明・山本 晃 (八千代エンジニアリング)
26. 機械学習によるボーリングコアにおけるエコーチップ硬度計と X 線コアスキャンの適用性検討
○森 遥・木下 博久・菅野 雄一 (復建調査設計)・珠玖 隆行 (東京都市大学)
27. 岩級区分 (花崗岩・結晶片岩類) の定量的評価におけるエコーチップ硬度計と X 線の適用性検討
○池田 雄輝・木下 博久・森 遥・松村 篤 (復建調査設計)・原口 強 (STORY)
28. X 線画像解析・エコーチップ硬度計を用いたボーリングコア岩級区分の定量的評価手法の検討
○松村 篤・池田 雄輝・森 遥・木下 博久・杉山 光正 (復建調査設計)・原口 強 (STORY)

災害地質(1) 15:45-17:30

29. 干渉 SAR 時系列解析による斜面崩壊の早期検知・評価の可能性と課題
○吉田 美月・吉川 猛・福井 謙三 (基礎地盤コンサルタント)
30. 降雨を考慮した三次元斜面安定解析による崩壊危険度の評価
○梶島 匡・三谷 泰浩・本田 博之・中西 隆之介・菅原 巧・千代 圭太 (九州大学)
31. 比抵抗モニタリング装置による長期観測と斜面崩壊リスク指標化の試み
○上原 大二郎・竹田 和弘 (中央開発)・上田 匠・岩崎 優介 (早稲田大学理工学術院)
32. 30 年豪雨による造山古墳小崩壊地での応用地質学的検討
○鈴木 茂之 (岡山大学)・内藤 秀信 (岩水開発)・西村 輝 (岡山県土質試験センター)・木村 隆行・佐田 真 (エイト日本技術開発)・寒川 史也 (岡山市教育委員会)・光本 順・清家 章 (岡山大学)
33. 高精度地形データによる道路斜面の地形判読の体系化を目指した事例集の作成
○浅井 健一・品川 俊介 (国立研究開発法人土木研究所)・道路斜面地形判読手法共同研究グループ
34. 点群地形データを利用した土石流発生・流下形態区分の事例 (その4)

- 木下 三郎 (日航コンサルタント)
35. 北海道の自然災害伝承碑「猿払村インディギルガ号海難事故及び中川町上国根府渡船転覆事故」
○中田 光治・倉橋 稔幸 (寒地土木研究所)・仁科 健二 (北海道立総合研究機構)・大浦 宏照 (HRS)
36. 箱根地域での自然災害伝承碑と地域自然災害の繰返し性
○稲垣 秀輝 (環境地質)

第2日 [10月9日(木)] 第2会場

土质地質(1) 9:30-11:55

37. ハイパースペクトルカメラを用いたスメクタイト定量判定技術の開発
○長谷 陵平・吉河 秀郎・淡路 動太 (清水建設)・中川 清森・清水 桜 (地圏総合コンサルタント)・大竹 翼・古川 皓一 (北海道大学)
38. 岩盤表面の割れ目の平滑度を定量評価する方法の開発
○戸邊 勇人・宮嶋 保幸・升元 一彦 (鹿島建設)
39. 定点カメラ画像解析によるトンネル貫通掘削時の斜面変状モニタリングー四万十帯堆積岩を対象とした事例ー
布崎 善規 (国土交通省 近畿地方整備局)・○濱田 好弘・七條 巧 (熊谷組)・佐藤 匠 (国際航業)
40. 生成 AI (大規模言語モデル) を活用した地山評価ートンネル切羽写真での試みー
○石濱 茂崇 (熊谷組)
41. トンネル坑口における詳細な地質横断図の作成・活用と施工実績との比較
○仙石 南々海・中島 亮・石濱 茂崇・秋谷 啓介 (熊谷組)・布崎 善規 (国土交通省 近畿地方整備局)
42. 高規格道路Ⅱ期線トンネル調査における空中電磁探査の適用性の検討
宗 駿登 (西日本高速道路)・香村 官永 (ジオ・エスキューブ)・○村岡 英樹・小原 大輔・黒川 雅裕 (日本工営)
43. トンネル漏水対策開発に向けたコンクリーション形成室内試験研究
○吉野 恒平・岡崎 健治・日外 勝仁 (寒地土木研究所)・吉田 英一・山本 鋼志 (名古屋大学)・松本 晃治・島田 昌紀 (積水化学工業)
44. 新幹線トンネル坑口斜面部設計の合理化に向けた取り組み
○外山 真・赤澤 正彦 (鉄道・運輸機構)
45. 北海道新幹線 (新函館北斗・札幌間) のトンネル施

工と課題について

○赤澤 正彦・外山 真（鉄道・運輸機構）

46. 建設発生土を利用した大気 CO₂ の固定化とその簡易的評価の試み

○中島 亮・片山 政弘（熊谷組）・岩木 大・佐藤 遼弥・Gao Shuaiqiang・佐藤 努（北海道大学）

土木地質(2) 15:45-17:30

47. 御嵩町亜炭廃坑を対象とした強度評価に関する研究

○安部 純平・藤井 幸泰・浅野 侃哲・上道 圭一郎（名城大学）

48. 貯水池周辺地すべりにおける実測に基づく残留間隙水圧の残留率とその経時変化

○須藤 大智・矢島 良紀・品川 俊介（土木研究所）

49. 小型傾斜計を用いた測定不能となった孔内傾斜計の再観測事例報告

○香取 祥人・梅崎 基考（アバンス）

50. 打音による岩盤の AI 判定と国内外岩盤等級区分の関連性について

○上田 広和（ニュージェック）・中島 伸一郎・丸山 裕太郎（山口大大学院）

51. 岩石に内在する付着力を有する割れ目の内部構造

○河村 祥一・久河 竜也・赤坂 友幸・浦越 拓野（鉄道総合技術研究所）

52. 背景差分法による斜面変状箇所抽出の効率化に向けた検討（その1）

○日外 勝仁・川又 基人（寒地土木研究所）

53. 切土のり面の応力解放に伴う泥質岩層理面の強度低下

○山下 浩二（基礎地盤コンサルタント）

54. 要領等の適用範囲を超えた施設の安全性に関する一考察—廃棄物最終処分場の設計要領を例にして

○大野 博之（地質工学社）

第2日 [10月9日(木)] 第3会場

地下水・社会貢献 9:30-11:00

55. 地球科学におけるリスクと不確実性 ～地質調査に関する認識のギャップ～

○吉野 瑛師・太田 岳洋（山口大学）

56. 長期計測(Long Term Measurement: LTM)を用いた中小河川の監視による地域防災の高度化

○菊地 輝行（公立諏訪東京理科大学）・林 宏一・松澤 真（京都大学防災研究所）・佐々木 恭助（アンバーロジックス）

57. 重金属対策盛土周辺井戸で生じた鉛の基準値超過に

おける原因分析事例

○町田 悠輔・米田 英治・佐藤 祥昭（川崎地質）

58. 地下石油備蓄基地における水封水位上昇による効果について

○仙波 優平・山下 貢・西原 司（日本地下石油備蓄）・藤本 泰史（地圏総合コンサルタント）・末永 弘（電力中央研究所）・谷川 晋一（JX 金属探開）

59. 地質構造の異方性を考慮した透水性マップ構築技術の試行

○石橋 正祐紀・升元 一彦（鹿島建設）・竹村 貴人（日本大学）

60. 水位ポテンシャルを応用した花崗岩透水係数の推定手法の提案

○木村 隆行・高津 順・渡辺 俊一（エイト日本技術開発）・中岡 浩太・加田 利克（国土交通省）・西垣 誠（IMTERA）

61. 福島県阿武隈山地周辺の地下水流動に関する検討

○竹内 真司（日本大学）・陳 良宇（東電設計）・張 豊瑞（日本大学）

地形・地質一般 15:45-17:30

62. 地形分類と表層の地盤情報に関する試験検討

○加藤 翔太・西金 佑一郎（鉄道総合技術研究所）

63. 中止

64. 能登半島珠洲市北部海岸の露頭と年代

○天野 英樹（北電総合設計）・柳田 誠（阪神コンサルタント）・井上 大禰（元電力中央研究所）・鈴木 茂之（岡山大学）・高田 将志（奈良女子大学）・神嶋 利夫（小外）・大畑 雅彦（国際航業）

65. 岩塔の分布が示唆する花崗岩体の地質構造

○加藤 弘徳（荒谷建設コンサルタント）・千木良 雅弘（深田地質研究所）

66. 花崗岩の様々な節理とモデル化の問題

○千木良 雅弘（深田地質研究所）・加藤 弘徳（荒谷建設コンサルタント）

67. 東京の地盤（GIS 版）のボーリングデータ解析による沖積地盤の再検討

○木村 克己（深田地質研究所）

68. 四国山地の線状凹地の破壊構造と誘因

○横山 俊治（深田地質研究所）

69. 応用地質学と地盤工学の協働に向けた一提案：若手技術者のための地質学実習の紹介

○竹下 徹（パシフィックコンサルタント）

第3日 [10月10日(金)] 第1会場

災害地質(2) 9:30-10:35

70. 能登半島地震による大規模な斜面崩壊の空中写真判読とその活用
○黒木 貴一(関西大学)・太田 岳洋・瀧本 真理(山口大学)
71. 令和 6 年能登半島地震で発生した大規模地すべりの発生機構の解明
○瀧本 真理・太田 岳洋(山口大学)・黒木 貴一(関西大学)
72. 急傾斜地で発生した道路法面における崩壊の調査事例
○草野 互(村尾技建)・田中 倫久(アジア航測)・渡邊 寛也(村尾技建)
73. 令和 6 年能登半島地震で発生した低角度並進すべりの事例
○加藤 靖郎・高見 幸恵(川崎地質)・井口 隆(防災科学技術研究所)・高見 智之(国際航業)
74. 2024 年能登半島地震による斜面変動の類型案と地形地質要因
○高見 智之(国際航業)

災害地質(3) 10:45-11:50

75. 植生の違いによる土壌水分条件への影響
○竹田 拓己・太田 岳洋(山口大学)・黒木 貴一(関西大学)・宮本 新平・森川 寛之(中電技術コンサルタント)
76. 経験の無い気象条件における盛土の集排水の重要性に関する一考察
○古林 慧一・細野 賢一(地層科学研究所)・大野 博之(地質工学会)
77. 地すべり地におけるディープウェル工検討事例
○伊東 陽希(大日本ダイヤコンサルタント)・名畑 昌昭・松下 和敬(兵庫県 西播磨県民局 光都農林振興事務所)・鏡原 聖史・山口 奨之・岡崎 敬祐・池田 智博(大日本ダイヤコンサルタント)
78. 地すべりの発生場を制御する四国三波川変成帯の高密度褶曲一劈開構造
○山崎 新太郎(京都大学防災研究所)
79. 道路土工構造物点検における 3 次元点群データの活用
○大津 滉介・中山 貴仁・丸山 哲弥(ドーコン)

災害地質(4) 13:00-13:40

80. テフラ層すべりはなぜ群発したか? その地質要因—まとめと課題
○田近 淳(ジオテック)

81. 日高山脈の周氷河斜面で発生した 2016 年 8 月豪雨による斜面崩壊: 近年の気候変動に伴う寒冷地形の不安定化の例
○石丸 聡・小安 浩理・加瀬 善洋・川上 源太郎・仁科 健二・輿水 健一(北海道立総合研究機構)
82. 土石流扇状地における被害率の空間的ばらつきとその要因分析
○小坂 英輝・鶴澤 貴文・二馬 大海・山口 皓己(環境地質)

特別セッション5「複合災害を考える Part2」

13:50-15:20

83. 越谷低地の地盤発達, 連鎖複合災害リスクを明らかにするための基礎地盤調査
○佐藤 昌人・前田 宜浩・藤原 広行・中村 洋光(防災科学技術研究所)・松山 尚典(応用地質)
84. 地震災害に伴う複合災害についての検討
○北田 奈緒子・井上 直人・三村 衛・林 健二(GRI 財団)

第3日 [10月10日(金)] 第2会場**土木地質(3) 9:30-10:20**

85. 山間部における微動アレイ探査の適用性について
○梶山 敦司(土木研究所)・長 郁夫(産業技術総合研究所)・品川 俊介(土木研究所)
86. 監査廊を用いた弾性波トモグラフィによる基礎岩盤調査
○尾西 恭亮・鈴木 望夢(土木研究所)・榊田 卓(八千代エンジニアリング)・大石 佑輔(応用地質)・小寺 凌(大日本ダイヤコンサルタント)・品川 俊介(土木研究所)
87. 稠密な単点微動観測による沖積層基底面の不整形構造の詳細推定
○松山 尚典・小西 千里・鈴木 晴彦・任 宇翔(応用地質)・林 宏一(京都大学防災研究所)
88. 高精度表面波探査と直線アレイの精度, 解像度
○林 久夫(ジオックスコンサルタント)・高木 俊男(復建調査設計)・原口 強(STORY)

測量・計測 10:35-12:15

89. 室内試験による複数の初期地圧測定手法の比較
○佐藤 稔・西本 壮志(電力中央研究所)
90. 愛知県の人造石遺産に用いられた「たたき」の強度評価
○浅野 侃哲・藤井 幸泰(名城大学)

91. 岩盤斜面における 3 次元点群を用いた簡便な状態変化検知手法
○久河 竜也・河村 祥一・浦越 拓野（鉄道総合技術研究所）
92. 落石の発生傾向と、干渉 SAR 解析で得られた斜面変化の特性
○野池 耕平・村岡 洋（東日本旅客鉄道）・喜 里美（JR 東日本コンサルタンツ）・奈良 誠大・平松 真宙・棚橋 廉（リモート・センシング技術センター）
93. 新型斜面崩壊監視用傾斜・土壌水分同時観測システムの開発
○後藤 和幸・片山 輝彦（アサノ大成基礎エンジニアリング）
94. デジタル傾斜計を用いた変状道路法面の予知保全への試み
○香月 裕宣・矢野 健二・宮崎 菜央（ジオテック技術士事務所）・一木 誠司（福岡県県土整備部）・三谷 泰浩・中西 隆之介（九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター）・廣重 法道（福岡大学）・清崎 淳子・村石 瑛梨花（クロスエンジニアリング）
95. 航空レーザ測量データや衛星画像を用いた既存盛土の抽出と今後の監視
○塚本 峻一・藤田 安秀（アジア航測）
96. 小型ミュオン検出器を用いた地すべり排水トンネル上部地盤の計測
○後藤 聡（山梨大学）・小幡 隼士・後藤 瑞季・木本 懂子（元 山梨大学）・後藤 禎（日本アイ・ビー・エム）

第3日 [10月10日 (金)] 第3会場

環境地質 9:30-10:35

97. 蛇紋岩中のホウ素の存在形態及び溶出特性
○村尾 駿太郎・太田 岳洋（山口大学）
98. 自然由来重金属対策試験盛土による粘性土敷土のヒ素低減効果
○佐原 圭介・赤澤 正彦（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）・五十嵐 敏文（北海道大学）・太田 岳洋（山口大学）・川越 健・浦越 拓野（鉄道総合技術研究所）
99. 自然由来重金属対策試験盛土でのヒ素の移行
○浦越 拓野・川越 健（鉄道総合技術研究所）・太田 岳洋（山口大学）・佐原 圭介・赤澤 正彦（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）・五十嵐 敏文（北海道大学）
100. 廃棄物由来の環境汚染現場における対策効果の評価手法としての細菌叢解析の適用

○和田 卓也・湯浅 忠・森 啓悟（建設技術研究所）・棟方 有桂・水野 貴文（環境総合リサーチ）

101. 能登半島隆起海岸から礫の応用地生生態を考える
○森野 善広（パシフィックコンサルタンツ）

地層処分 10:45-12:00

102. ボアホールジャッキ試験を用いた変形・応力解析と地質特性を考慮した EDZ 評価
○相澤 穂高（川崎地質）・大野 宏和（日本原子力研究開発機構）・川久保 昌平（安藤ハザマ）・加藤 猛士（川崎地質）
103. EDZ 調査における CT 画像を用いた地質・地質構造の把握
○大泉 涼・加藤 猛士・相澤 穂高（川崎地質）・木村 駿（日本原子力研究開発機構）
104. CO₂ 地中貯留における断層安定性監視評価手法の開発に向けて：豪州での光ファイバーを利用した実証試験の紹介
○大内 航・橋本 励（地球環境産業技術研究機構）・堀川 滋雄（サンコーコンサルタント）・薛 自求（地球環境産業技術研究機構）
105. 断層周辺の地震時間隙水圧応答
○堀川 滋雄・佐々木 猛（サンコーコンサルタント）・楠瀬 勤一郎（地球環境産業技術研究機構）
106. 炭酸塩コンクレーション化剤の地層処分場処分孔への適用性検討
○城 まゆみ・長峰 春夫（大成建設）・吉田 英一・山本 鋼志・浅原 良浩（名古屋大学）・松本 晃治（積水化学工業）
107. コンクレーション化剤による岩盤亀裂・断層シーリング実証試験
○吉田 英一・山本 鋼志・浅原 良浩（名古屋大学）・望月 陽人（日本原子力研究開発機構）

【ポスターセッション】

コアタイム 第2日 [10月9日 (木)] 13:00-14:00

地形・地質一般

- P1. 筑後川下流にみられる低位段丘と氾濫平野の地形地質
○小野 尚哉・志賀 直樹・原田 あゆ子・片岡 達彦（国際航業）
- P2. 天竜川中流部の三波川帯分布域における地すべり地形の形成年代の推定
○平田 康人（電力中央研究所）・柳田 誠（阪神コンサル

ルタンツ）・小早川 博亮（電力中央研究所）

P3. 中止

P4. 高精度地形データとハンディ GPS を組み合わせた現地調査手法の提案ー北海道東部の地すべり調査の例ー

○加瀬 善洋（北海道立総合研究機構）・吉永 佑一（防災地質研究所）・室田 真宏（北信ボーリング）・小安 浩理・仁科 健二・石丸 聡・藤原 寛・宇佐見 星弥（北海道立総合研究機構）

P5. R6 能登半島地震による地殻変動と崩壊等の関係

○小野田 敏・落合 達也・吉田 崇博・高山 陶子（アジア航測）

P6. 大井川流域と安部川流域における土砂動態に関する研究

○藤井 幸泰・溝口 敦子（名城大学）・本多 太一・竹内 悠貴（元名城大学）

P7. 北海道の地すべり地形データマップ改定に向けたアンケート調査

○廣瀬 亘（北海道立総合研究機構）

P8. 第四紀テフラの U-Th-Pb 年代測定（その 11）：羊蹄火山起源のテフラと小豆島の貫入岩の年代

○伊藤 久敏・上澤 真平（電力中央研究所）

災害地質

P9. 山口県岩国市における斜面崩壊と土壌の形成過程に関する検討

○宮本 新平（中電技術コンサルタント）太田 岳洋・辻 智大・竹田 拓己（山口大学）黒木 貴一（関西大学）森川 寛之（中電技術コンサルタント）

P10. 高標高の山岳道路における斜面災害特性と対応策の検討

○津田 普輝・居川 信之（エイト日本技術開発）・沢田 和秀（岐阜大学）

P11. UAVLiDAR と赤外線センサーを用いた地すべりブロック内地下水位推定の試み

○片山 翔・神崎 裕・犬飼 唯人・田中 風羽（中央開発）

P12. 大規模地震と豪雨の複合的要因によって生じた斜面崩壊箇所の地形・地質的特徴ー令和 6 年能登半島地震と令和 6 年奥能登豪雨を例としてー

○小寺 凌・浅井 健一・矢島 良紀（土木研究所）

P13. 令和 6 年能登半島地震で発生した表層崩壊と風化帯との関係

○松澤 真（京都大学防災研究所）・渡壁 卓磨（森林総合研究所）・佐藤 昌人（防災科学技術研究所）

P14. 崩壊面積ー崩壊深関係と土層構造に関する一研究

○若月 強（防災科学技術研究所）・西井 稜子（新潟大学）・秋田 寛己・山田 隆二・飯田 智之（防災科学技術研究所）

P15. 犬岩山国有林の表層崩壊についてー高田流紋岩類の風化・斜面発達ー

○橋本 将弥・太田 岳洋（山口大学）

P16. 微地形を考慮した内水氾濫の浸水深推定に関する基礎的研究

○吉成 結菜（埼玉大学）・四條 愛梨（元埼玉大学）長田 昌彦（埼玉大学）

P17. 鹿児島県竜ヶ水地域の斜面崩壊素因の推定

○谷口 歩夢（山口大学）

P18. web-GIS を利用した自然災害伝承碑マップの作成ー災害地質研究部会の取組事例ー

○金山 健太郎（大日本ダイヤコンサルタント）・下村 博之（パスコ）・千田 敬二（八州）・佐藤 昌人（防災科学技術研究所）・加藤 靖郎（川崎地質）・塚本 峻一（アジア航測）・日本応用地質学会災害地質研究部会

P19. 熊本県の自然災害伝承碑

○梅崎 基考（アバンス）・九州災害碑 WG

土质地質

P20. 画像分析 AI を用いた建設発生土の簡易的な粗粒・細粒区分

○村松 樹（八千代エンジニアリング）・衣川 雛（大阪公立大学）・藤井 純一郎・山本 晃・大谷 晃・吉村 裕明（八千代エンジニアリング）

P21. AI 技術を用いた打音による岩盤強度の推定とその精度検証

○菅田 大輔・永島 達也・古木 宏和・宮村 滋（日本工営）

P22. スペクトルカメラを用いた切土法面の地質評価手法に関する検討

○姫野 佳純・寶谷 周・井ノ口 拓郎（安藤ハザマ）・中村 匠（青森県）

P23. 画像基盤モデルを用いたボーリングコア評価指標の自動取得と地質特性の影響

○津久井 脩平・岡野 将大・七海 友康・藤井 純一郎（八千代エンジニアリング）

P24. 膨潤性地山における切土工事後における遅れ破壊に関する検討

○原田 紹臣（三井共同建設コンサルタント）

P25. 湿雪雪崩を伴う土砂移動の評価に向けた融雪期における斜面表層部の観測事例

○岡崎 健治・川又 基人・吉野 恒平（寒地土木研

究所)

- P26. 採石場跡地を利用した建設残土処分場の調査事例
○石田 良二 (ジェイアール総研エンジニアリング)

測量・計測

- P27. 宇宙線ミュオンによる地盤空洞探査手法の地形・地盤の影響評価
○崎田 晃基・竹下 隼人・木下 哲一・陳 剣(清水建設)

- P28. 小型 SAR 衛星 StriX を用いた石川県奥能登豪雨被害の可視化および解析時の留意点

○石丸 元気・丹羽 廣海・石田 純平 (フジタ)・作野裕司 (広島大学)

- P29. マルチプラットフォームリモートセンシングによる地すべり変動特性の検討: 北海道壮瞥町幸内地区周辺の事例

○宇佐見 星弥・石丸 聡・川上 源太郎・園田 ひとみ (北海道立総合研究機構)

- P30. 低コスト UAV と FOSS を用いた雲仙普賢岳のガリー発達量モニタリング

○中牟田 新士・太田 岳洋 (山口大学)

- P31. ICP とクラスター分析を用いた能登半島地震で発生した広域斜面変動における定量的な変動特性区分

○阪木 誠悟・水谷 航・佐々木 翔太・菊地 輝行 (公立諏訪東京理科大学)・崎田 晃基 (清水建設)

- P32. 温湿度センサと赤外線サーモグラフィを用いた岩石壁面の測定による蒸発量推定と考察

○広瀬 朱音・長田 昌彦 (埼玉大学)・守屋 奈々華 (元埼玉大学)

- P33. 斜面点検における着目すべき落石を対象とした点群計測機器の適用性の検討

○川又 基人・日外 勝仁 (寒地土木研究所)

- P34. 地すべり・斜面を対象としたリアルタイム・モニタリングシステム (TLS) の開発

○渡邊 亮太・能見 忠歳・平松 晋一 (応用地質)・鈴木 健・村田 康一 (ナレッジフォーサイト)

- P35. 岩盤判定におけるスマートフォンの打音記録アプリの適用

○古木 宏和・菅田 大輔・宮村 滋・永島 達也 (日本工営)

地下水

- P36. トンネル掘削における水質を用いた地質構造の検討
○平山 稜悟・太田 岳洋 (山口大学)

- P37. 伊良部島の地下水特性について

○風見 健太郎

- P38. 河川とダムにおけるトレーサーとしての酸素水素安定同位体

○伊藤 由紀・大山 隆弘・田中 姿郎・野原慎太郎 (電力中央研究所)

- P39. 南アルプス山岳域における水質形成プロセスの解明
○木村 龍生・中村 高志 (山梨大学)・柳澤 良亮 (信州大学)

- P40. 八甲田火山大岳溶岩の水文地質構造と水収支 その3

○渡辺 修 (水文企画)・栢木 智明・宮崎 精介 (スイモン LLC)

環境地質

- P41. 土研式雨水曝露試験における酸性水発生の遅延

○昆 周作・品川 俊介 (土木研究所)

- P42. 酸性水溶液中における建設発生土中のふっ素の溶出源と溶出過程

○佐藤 真 (土木研究所, 現 地圏総合コンサルタント)・品川 俊介・昆 周作 (土木研究所)

- P43. ハンドヘルド型蛍光 X 線分析による含有量分析の精度とボーリングコア試料の測定事例

○遠藤 のぞみ・山崎 秀策・日外 勝仁 (寒地土木研究所)

- P44. 施工後 13 年が経過した重金属等対策盛土における地下水・盛土浸出水のモニタリング調査結果

○山崎 秀策・遠藤 のぞみ・田本 修一・日外 勝仁 (寒地土木研究所)

- P45. 不均質地層における注入井最適配置のための多目的進化的手法の適用と評価

○佐々木 憲司 (電源開発)

- P46. 「ふるさとの石」の解説による応用地質学のアウトリーチ

○舩山 淳 (パシフィックコンサルタンツ)・佐伯 佳美 (ダイエーコンサルタンツ)・大谷 晃 (八千代エンジニアリング)・清崎 淳子 (クロスエンジニアリング)・宇佐美 光宣 (大日本ダイヤコンサルタント)・堀信雄 (日さく)

地層処分

- P47. 流域の地形特徴量から涵養域／流出域の分布把握に向けた検討

○西山 成哲・川村 淳・加藤 由梨 (JAEA)・小泉 由起子・賈 華 (三菱マテリアルテクノ)

- P48. 深部流体の湧出経路と地質構造―八塩鉱泉地域における予察的検討―

楠原 文武・○大山 隆弘 (電中研)・清水 洋平 (大日)

本ダイヤコンサルタント)

P49. 減圧回復過程を利用した岩石の透気異方性に関する研究

○小林 璃桜・長田 昌彦 (埼玉大学)

象とした観察事例一

○田中 姿郎 (電力中央研究所)

社会貢献

P50. 地球科学におけるリスクと不確実性 ～山口県萩市群発地震のステークホルダーそれぞれの価値観～

○太田 岳洋・吉野 瑛師(山口大学)

P51. 長町-利府断層帯巡検マップによるアウトリーチ活動

○村上 智昭(復建技術コンサルタント)

P52. 中止

P53. 地形情報を活用した傾斜地集落における豪雨時避難計画策定に向けた取り組み

○野々村 敦子・中村 梨聖 (香川大学)・西山 賢一 (徳島大学)・柳内 守・古谷 勇人・殿谷 梓 (三好市役所)

P54. 北陸新幹線(金沢・敦賀間)沿線のジオ鉄マップを活用した自然科学普及へのアプローチ

○藤田 勝代・今尾 恵介・上野 将司・加藤 弘徳・横山 俊治(深田研ジオ鉄普及委員会)

P55. 北海道支部における活動報告

○安元 和己(ドーコン)・山崎 秀策(寒地土木研究所)

特別セッション2「ボーリングコアの画像診断と DX 化」

P56. 両面コア箱を用いたボーリングコアの三次元モデル作成

○藤田 琢磨・小田 高幸(復建調査設計)

P57. 4K・X 線画像を用いたボーリングコアのデジタルアーカイブへの取り組み

○加藤 裕将・日野 康久(KANSO テクノス)

P58. 大規模地すべりににおけるボーリングコアの画像診断

○林 一成・荻田 茂・伊藤 啓太(奥山ボーリング)・原口 強・鈴木 雄介(STORY)

P59. (仮) シラスコアの可視化

○山下 祐志(アーステクノ)・原口 強(東北大学・STORY)

P60. ハイパースペクトルイメージングと人工知能を用いた先進ボーリングコア中の 泥岩及び凝灰角礫岩に含まれるヒ素含有箇所 の推定

○滝澤 海斗・岡田 夏男(北海道大学)・大和田 済熙(秋田大学)・黒木 宏忠(青木あすなろ建設)・大友 陽子・川村 洋平(北海道大学)

P61. ボーリングコアの X 線 CT 画像観察―地すべりを対